

＜監査報告書の例＞

| | | |
|--|----------|---|
| 内部安全衛生監査報告書 | | 監査員 ・チーフ ・ ・ |
| 監査日 2002年11月19日(火) | 職場 A課 | |
| <p>監査の結果</p> <p>おおむね良好な管理状態にあります。</p> <p>とくに良好な点 防火防災体制：消防組織と防火体制の系統が一本化されていてよい。</p> <p>今後改善を望む点</p> <p>1. 方針・計画：①目標の見直しをすべきである。(交通事故目標0件に対し3件発生) 目標の“0”が本当に適当だったかどうか？発生率や焦点を絞った目標も検討するとよい。 ②目標を達成するための計画として体系的に整理し、計画をみただけで今年の実施項目全体が見られるとよい。</p> <p>2. 教育：①教育内容が活かされているか、再教育等の必要性はどうか確認が必要。 ②職場にどんな資格が必要か、誰がどんな資格を持っているか、どんな教育を受けさせるべきか、計画的に推進するとよい。 ③作業標準教育記録は各課で管理している。品質・環境・安全に共通で使用できるよう、個人ごとに記録するとよい。</p> <p>3. K Y T活動：タッチアンドコールとK Y T活動を区分けすること。</p> <p>4. 掲示物等：現状と合っていない古い書類が混じっている。</p> | | |
| <p>総括</p> <p>文辞委、記録、実行状況、職場の状況ともにおおむね良好な状態にあります。情報伝達も、上層部から課長、職場長、従業員とスムーズに行われており、管理者・監督者の意思が反映されすばらしいと思います。 但し、K Y T活動は本来の役割が薄まっているように感じます。 課員が一丸となって推進する力が十分にありますので、今後は安全衛生活動の有効性、妥当性を評価し、より具体的な活動をするよう望みます。</p> | | |
| オープニングミーティング | | クロージングミーティング |
| <p>・実施日：2002年11月19日</p> <p>・時間：9：00～9：10</p> <p>・場所：11会議室</p> <p>・出席者：××課長、××主任、××職場長 ××職場長、××スタッフ</p> | | <p>・実施日：同日</p> <p>・時間：12：00～12：05</p> <p>・場所：6棟休憩室</p> <p>・出席者：同左</p> |

福島工場第1回安全衛生マネジメントシステム内部監査のまとめ

監査実施日 2002年11月19日(火) 9:00~12:00
 監査場所 聞き取り調査: 11会議室、職場調査: 各職場
 監査対象 A課、B課
 監査員 チーフ:
 メンバー:
 まとめ実施 2002年11月19日(火) 13:15~15:00 (総務会議室)
 監査結果 不適合事項 両職場ともになし。
 その他コメント (指導事項、良好な点)

<両職場に共通していえること>

| | | |
|------|--------|--|
| 指導事項 | 計画・方針 | ①目標を達成するための計画として体系的に整理不足。 |
| | | ②計画を見ただけで実施項目全体がみられると良い。 |
| | | ③今年やることを具体的に表現するともっと良い。 |
| | 教育 | ①教育内容が生かされているか、再チェック、再教育等の必要性を要検討。 |
| | | ②作業者の教育記録はあるが、自分の職場にどんな資格者が必要か、どんな教育を受けさせるべきか、計画的に推進すると良い。 |
| | | ③職場で誰がどんな資格をもっているか、どんな教育を受講したかの情報があると良い。 |
| | | ④作業標準教育記録は各課で管理している。品質・環境・安全の共通で使用できるよう、個人ごとに記録すると良い。 |
| | KYT活動 | ①タッチアンドコールとKYT活動を区分けすること。 |
| | | ②厳密に言うと、毎日テーマを変えてやるだけでは効果はあがらない。 |
| | | ③工場としての活動が薄れているのも一要因にある。 |
| | 掲示物、書類 | ①現状と合っていない古い書類が混じっている。タイミング良いメンテナンスをしていただきたい。 |

<A課>

| | | |
|------|---------|--|
| 指導事項 | 目標の見直し | ①目標の見直しをすべきである。(交通事故目標0件に対し3件発生) |
| | | ②目標‘0’が本当に正しかったか? 加害事故に絞るとか、発生率が管理するとか、別な手法も検討すると良い。 |
| | | ③目標を達成する為の具体的取組みが弱い。 |
| 良好な点 | 防火・防災体制 | ①消防組織と防火体制の系統が、一本化されていて良い。 |

<B課>

| | | |
|------|----------|---|
| 指導事項 | 方針・目標・計画 | ①部として作られているが、現業部門、危険度の高い部門、人数の多い部門については、課単位で管理するほうが良い。目標・実施項目が明確になる。従業員の意見の反映がしやすくなる。 |
| | 職場パトロール | ①パトロールチェックは、○△×を記入することになっているがレ点が入り、状態がよく把握できていない。 |
| 良好な点 | 避難経路 | ①避難ルートではなく非常口を明確にすることにより、緊急時に臨すみやかな対応が取れる体制ができており良い。 |